

2014~2015 中部部報

国際会長主題	「言葉より行動を」 Taik Less, Do More	Isaac PaLathnkal (インド)
アジア会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 Start Future Now	岡野 泰和 (日本)
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」 To walk together,echoing each other」 松本 武彦(大阪西クラブ)	
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動！」を今やってみよう！大西 博昭(四日市クラブ)	



中部部長

大西 博昭
四日市クラブ

「将来を見つめたワイズ活動！」を 今やってみよう！

ワイズメンズクラブの活動を積極的に行う！そして学ぼう！

国際的な組織とワイズ活動を部会・例会で考えよう！各事業活動に対し参加意識を持てるワイズメンに楽しみを見出そう！

今一度ワイズメンズクラブを振り返ってください。一年間の行事予定、毎月の例会が開催されますが、例会の内容を一度精査してください。

西日本区理事方針・事業主査方針を踏まえて、今年度のクラブ活動を活性化させるかが課題ではないでしょうか。クラブ会長を中心に西日本区強調月間に基づき活動を検討してください。これまでのワイズ歴史・活動を教科書に活動することが、ワイズメンをレベルアップする近道と思います。私は入会早々中部会計、4年後に会長・同時に西日本区リーダーシップ開発委員をさせていただきました。正直分からないことばかりでしたが徐々に内容がわかるようになってきました。元西日本区

理事 仁科 保雄(京都キャピタル) 開催のLD委員会出席の時にワイズ全体の流れがわかりました。理事方針が事業主任・部長・会長・主査活動のプロセスになるということです。LD委員会を通して各部・各部長の計画・活動を学ばせて頂きました。

7月～8月は部長公式訪問で各クラブ例会に出席させていただきます。宜しくお願い致しますその他の月も各クラブの例会には極力参加させていただこうと思っています。部長として今期例会のあり方を考えていきます。例会の充実こそがEMC事業・クラブメンバーのスキルアップです。

部長通信を通して皆様に活動方針の現況・中部各クラブの現況・行事をお伝えしていきます。例会にてクラブブリテンと合わせて一読いただければ幸いです。

年間行事はスタートと同時に開催されます。西日本区の連絡は部長からクラブ会長・主査の皆様へ報告されることが大切です。またクラブ会長から主査・主任・部長への連絡等も大切です。西日本区役員会にて決定されることをクラブメンバーへ報告できるか？各事業委員会の活動に対して各クラブの状況把握をしていくことも大切です。例えば各ファンドに対しての各クラブ進展状況なども相互に連絡していきましょう。

今年度はそうしたことを踏まえ、評議会を4回開催させていただきますのでご協力よろしくお願い致します。



次期中部部長
荒川 恭次
名古屋グランパス



直前部長
平口 哲夫
金沢犀川

新年度を迎えるにあたり

次期部長としてご承認いただき身の引き締まる思いです。この一年を大西部部長の創られる流れをスムーズに引き継げるよう注視していきたいと思えます。特に今年度から西日本区の事業活動が5つに統合され、より実効効率の高い事業活動が求められています。中部としてどう取り組まれるのか重要な年度でもあります。最重要課題としてはEMC（会員増強）がありますが、ワイズ全員で考えて成果を出したいものです。そのためには、一地域に留まらず他地域の活動情報の収集も重要となってきました。中部単独で考えれば、各クラブの活動の情報は中部ホームページに毎月掲載される各クラブブリテンから得ることができますが、他の部内クラブの活動情報収集となれば相当なエネルギーを要求されます。しかし今ではFacebook等を通じて他地域クラブの活動情報がリアルタイムに見られるようになりました。これからは情報収集方法にも関心を持つ時代かと思われまます。

ワイズ活動が、あらゆる世代（老若男女）が認知し、同一目線で「考え・喜び・悲しみ・悔しさ」を共有でき、そして盛り上がることのできるワールドカップのような存在になりたいものです。

中部 EMC200 に期待する

2013-2014 中部部長として「長所を活かして生き生きと」という主題を掲げ、部会・障がい者アート展・EMCセミナーを実施しました。このうち中部 EMC セミナーは中部 EMC200 の立ち上げを目指したものであり、2014年3月21日の第2回中部評議会で「中部 EMC200 推進委員会」の発足を承認していただいたわけですが、具体的な活動は2014-2015 中部部長のもとで開始するという約束になっております。この委員会は中部部長・次期部長・直前部長・中部 EMC 主査・各クラブ EMC 委員長(または会長)の9クラブ9名で構成されますので、私も直前部長として中部 EMC200 推進に責任を持つこととなります。EMC（会員増強）はクラブ活動の総合的な結果としてもたらされるものですから、多角的・多面的に検討し、問題点を改善していく必要があります。私は所属クラブでは広報・ブリテン・ホームページ（HP）委員長を継続担当しているだけでなく、2008-2009年度と2010-2011年度の二度にわたって中部広報主査を務め、現在、中部 HP 管理のお手伝いもしていますので、これについて最後に言及しておきます。中部 HP 委員会については運営規則が定められ、中部 HP 委員長は中部部則の第4条第1項において役員の一員として、かつ第9条第2項において評議会の構成員の一員として位置づけられているのですから、これに従ってください。



書記

郷戸 正光
四日市クラブ

中部書記として

ワイズメンとなつてから6年、クラブ会長として西日本区大会実行委員を経験し、多くの出逢いの機会をもつ事ができた事に心から感謝致します。

そして今回中部の書記として更なる学びの場を持つ事が出来ることを大変嬉しく思います。

大西部長の主題「将来を見つめたワイズ活動」を今やってみよう！の方針のもと、10年後20年後のワイズメンズクラブの理想の姿を見据え、中部メンバー200人の達成と共に、数の追求のみならず、各クラブメンバーの皆がワイズに対する気持ちも充実している。その為の1歩を踏み出す期にできるよう微力ではございますが全力で働いてまいります。

ワイズ活動を通じて多くの仲間と出逢い、親睦を深め、学ぶ事で自分自身が成長できる。色々な場面でそんな言葉を、まさに私もその言葉に共感し、それこそがワイズの醍醐味だと感じています。

まだまだワイズでの経験は多くありませんが、さらにワイズへの理解を深め中部各クラブのお役に立てるよう、機動力・行動力は意識しながら限られた1年ではございますが、活動して行きたいと思ひます。

後に各クラブの皆様に対し事務的な事も含め様々なお願いも多くなってくるかと思ひますが、ご支援、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



会計

早川 直希
四日市クラブ

中部会計として

部長が語られているように中部各クラブの会員数が減少している点や、未来のYMCAとY,sの関係についても見つめ直す時に差し掛かっていると思ひます。

このような時こそ事業等にサポート(補助金)がどのように使われているのか、他の協力方法等は無いのかを各クラブにて改めて考え、今後の活動について検討頂きたいと思ひます。

部長と共に各クラブへ訪問をさせて頂きより良いご意見を頂きたいと思ひます。

中部だから出来る事、中部から始める事、お役立つ事が多数あると考えます。

各クラブ及びYMCA自身がどのように展開発展していくのか考え行動する1年と考えます。会計は縁の下の力持ちと考えています。今期1年間宜しくお願いします。

中部部費の納入も下記口座に7月中にお振込み宜しくお願いします。

在籍人数 × 3,000円 / 1名

三菱東京UFJ銀行 四日市支店

普通 口座番号 0236675

中部 四日市ワイズメンズクラブ

中部会計 早川 直希 ハヤカ ナキ



監事

荒川 文門
名古屋南山

2014～2015の部長をお願いするのは、四日市クラブ 大西博昭ワイズです。中部の皆さんよくご存じですが、若くて行動派であり、西日日本区LD委員も長く勤められた中部の切り札の部長さんです。

この大西部長のもと我々中部のメンバーが如何に成長し各クラブが如何に大きくなっていくかを見つめたいと思っています。

部長と名のつくお役に関わり始めもう4年目です。次期、現、直前、と名を変え監事となりやっと役が一回りするようです。そんな意味では、中部全体が客観的に少しは見れるのかな、と思いますので監事の役を精いっぱい努め、何かお役に立てることがあれば出来る限り頑張りたいと思います。大西部長の少しでもお役に立てれば、最高の一年になると思います。



Yサ・ユース事業主任

山村 喜久
名古屋東海

YMCAサービス事業・ユース中部主査の重荷言うまでもなくワイズの活動はYMCAの良きパートナーとしての働きを期待されています。ワイズメンズクラブにとって何よりも大事な仕事がYサ・ユースの事業であります。

中部の主査を受けることはYMCAの会員の経験が浅い私にはワイズの仲間のサポートなくしては出来ないと思っています。

主査としての大きなプロジェクトは「YYフォーラム」です。どんなテーマでやろうか悩みのなかで考えあぐねています。良いアイデアがあれば是非ご提案ください。

YMCAと協働して実施するプログラム、「チャリティラン」、「クリスマスキャロル」、「ピースフルサンデー」、「南山夏まつり」、「3.11を忘れないチャリティウォーク」、「春・夏の根の上まつり」などには積極的な参加を呼び掛けたいと思います。

我が東海クラブが協賛している「平和の使者クリスマスカードコンテスト」のサポート、58回を迎える「名古屋市中学生バスケットボール大会」の観戦をワイズの皆さんにお願いします。

ユースの育成はYMCAの将来を担う次世代の若者が育つためにワイズは最大の努力が必要です。南山クラブが取り組むリーダーとの交わり、グランパスクラブのキャンプリーダーへのサポートなど今後も一層の取り組みをお願いしたいと思います。また、名古屋YMCAインターアクトクラブは今YMCAに集う高校生のグループとして貴重なクラブでありワイズメンの支援を期待しています。



**地域奉仕・環境
事業主査**

早川 政人
名古屋グランパス

2014～2015年度 地域奉仕・環境事業の主題『SHIFT』変わろう～ CS活動を通して新しい可能性に挑戦しよう！ 渡壁事業主任の熱意と思いを各クラブに啓発してワイズメンの力をもう一度再認識を新たに進める努力をしましょう。CS・TOF・FFの献金の100%を目指すPRをします。各クラブに協力をお願いします。CS資金の活用を呼びかけ 地域奉仕・環境事業の推進、情報を各クラブの活動に繁栄を共有するように働きかける事も必要と思います。各クラブからの情報を機会が有るごとに 問い合わせと発信に心がけます。各クラブではそれぞれに地域奉仕・環境事業の活動を継続していますので この情報が各クラブでの参考になると思います。中部が部で活動の応援と協力を心がけ大きな力になる様に各ワイズに働きかけます。

東北支援も状況が変化し少しずつ支援の方法を変える事も必要に考えます。状況変化に応じたものを情報発信も考えますので必要な奉仕をお願いいたします。

今年度は 『SHIFT』です、この目標を掲げて変わろうと思いますので 各ワイズの皆様ご協力をお願い致します。



EMC事業主査

島崎 正剛
名古屋プラザ

主題

中部の5年後の為に声掛けをしよう

活動方針

メンバー増強の具体例の案内をしながら、EMCの活動状況の把握。

各クラブの現状把握と今後の展開のシナリオ。

中部200チームとの連携

エクステンションへのプランニングの提示

例会充実の具体例の提示等を通して、中部の各クラブに方向性と可能性が感じられる活動をとおして中部部長の活動のフォローをしていければと思います。どうしたらうちのクラブでもやれそうだと実感できる情報を伝えることができるかと頭を抱えますが、現状維持はもはや許されない崖っ淵にどのクラブもあると思います。EMCは結果。何年間も各役員が奮闘・努力してこられた現状にどこまで越えられるかは分かりませんが、大変なことですが、光明が感じられることができればと思います。1年の時間があるわけではありません。ほぼ12月までの6か月で形をつくるのは大変ですが、中部のメンバーの協力を得て努力したいと思います。各クラブの会長及びEMC担当とメンバーの協力をよろしくお願いします。



国際・交流事業主査

川口 恵
名古屋クラブ

国際・交流事業は当期、国際にかかわる事業についてもっと情報を受発信し、理解・関心をもってより効果的に推進する目的で新設された事業です。国際関連では、国際関連の献金(B F / F F)と国際関連の交流(IBC/YEEP/STEP)の実施にかかわります。

中部は大西部長の活動方針において、国際・交流事業は、①区大会・部会・クラブ例会を通して交流を最大限に行う、②IBC.DBCの締結・交流事業のクラブ方針の推進、③B F ファンド、F F ファンドの積極的募金活動です。

自クラブのみならずクラブ外でも、ワイズの素敵な仲間に出会って、楽しい時、学びや新たな活動のエネルギーとする時を多くもつことができたら素晴らしいと思います。部内においては、他クラブの例会を始め、部のメンバーが参加できる催しの情報を多く発信したいと思います。西日本区

大会は大阪ですので、皆で行って、交流を深めましょう。

ファンドはファンドの使われ方を丁寧に報告することで募金活動への理解を深めたいと思います。



メネット事業主査

山内 ミハル
金沢クラブ

中部メネット主査としての願い

この度ワイズメンズクラブの中部メネット主査をお引き受けいたしました。金沢クラブにメネット会が組織されたとき、初代のメネット会長に選出された私は、金沢クラブメネット会の仲間と一緒に名古屋での合同メネット会に参加したときの感動を忘れることはできません。30年も前のことです。みなさんが明るく生き生きと活動されている様子に圧倒されました。そして「私たちもみなさんのように・・・」と燃える心で帰沢したのでした。

しかしその後、思いとは別にメンバーは年々減り、平均年齢は上がる一方ですが、それでも現在残されている私たちは、メンと共に本当にワイズライフを楽しんでいます。中部の中では陸の孤島にある金沢は、他クラブの皆さんとたびたび交流することは難しいのですが、メネット会のない各クラブにメネット会の種をまき、メンを支援しつつ活動を活性化し、2015年金沢に新幹線が開通する春には、多くのメネットさんに集まっていたいて、楽しく意義のある中部合同メネット会を開催したいと思っています。昨年夫が天に召され、彼が求めていたもの、目指していたものを共にすることができた思い出を大切にしたいと思っている今日この頃です。メネットの皆さん！ご主人が夢中になっておられるワイズメンの活動を理解し、支え、メンと共に歩もうではありませんか。夢よ、もう一度！と願っております。



金沢クラブ
会長
清水 淳

会社でも世間でも決して若くはないのですが、未熟者ではあります。入会から1年あまりなのに会長を引き受けてしまいました。当クラブの経験豊富なワイズメン・メネットのみなさまのお力を借りまくれば会長の重責も果たせるものと思っております。

来年3月には北陸新幹線が開通します。金沢市のキャッチコピーは「新しい金沢、はじまる。」です。当クラブは全国でも有数の歴史を持つ伝統あるクラブです。これまでの伝統を踏まえた新しいスタート「新しい金沢クラブ、はじまる。」が目標です。歴史と伝統を重んじつつ新しいことに挑戦していきたいと思っております。

そのためには一人一人が志を持ち、ひとつひとつの志を集めて大きな志を造り、新しい歴史を積み上げていきたいと思っております。

”Y’s, be ambitious!!” を主題として志をもって例会・プログラムに取り組んでいきましょう。

”ambitious”という単語を調べてみると「成功または達成のための強い欲求を持っているさま」「自身の能力または資質をめいっぱいを使う必要のある」「向上心のある」「野心的な」という意味があります。

新しい歴史を造っていくために必要な気持ちが”ambitious”です。

これまでやってきたことを大事にしつつ新しいことに挑戦していくそんなクラブを目指します。

とにかくやってみる、なんでもやってみる。そんな野望・野心も”ambitious”です。



名古屋クラブ
会長
千賀 将

みんなで創くろうワイズの未来

今期の大西部長の主題は「将来を見つめたワイズ活動」を今やってみようとのことです。ワイズメンズクラブにおいて将来を見つめて活動していく重要性は高いと私も思っております。

そのことも踏まえ、今期の名古屋クラブでは、会員増強に力を入れてやっていきたいと思っております。

そのために例会の充実を図りワイズメンでない方にも興味を持っていただける例会を作っていきたいと考えております。私自身若輩であり常々ワイズ活動の中で感じることは、名古屋クラブや中部、

全国のワイズメンの方は強い意志を持ち、文化的であつたり社会的に活躍されている素晴らしい方がたくさんいるということでありまして。名古屋クラブだけでなくワイズメンに卓話などをお願いする機会を増やし、ゲストにワイズメンズクラブや

ワイズメンズクラブのメンバーの素晴らしさを感じてもらえる例会を提供したいと思っております。また基本的なことですが、ゲストが来やすいように例会の案内を早めにするのを心掛けたり、ゲストへの配慮をしっかりとやっていきたいと思っております。

またメンバーみんながIBC、DBCの交流をはじめとしてクラブ内外の交流が行われることを期待します。もちろん、今まで通りYMCAプログラムへの参加や支援、地域奉仕などを積極的に行っていきたいと思っております。

名古屋クラブのみんなで協力し合いワイズの活動を未来永続に発展させるため努力できるよう活動していきたいと思っております。1年間よろしくお願ひいたします。

また基本的なことですが、ゲストが来やすいように例会の案内を早めにするのを心掛けたり、ゲストへの配慮をしっかりとやっていきたいと思っております。

またメンバーみんながIBC、DBCの交流をはじめとしてクラブ内外の交流が行われることを期待します。もちろん、今まで通りYMCAプログラムへの参加や支援、地域奉仕などを積極的に行っていきたいと思っております。

名古屋クラブのみんなで協力し合いワイズの活動を未来永続に発展させるため努力できるよう活動していきたいと思っております。1年間よろしくお願ひいたします。

また基本的なことですが、ゲストが来やすいように例会の案内を早めにするのを心掛けたり、ゲストへの配慮をしっかりとやっていきたいと思っております。

またメンバーみんながIBC、DBCの交流をはじめとしてクラブ内外の交流が行われることを期待します。もちろん、今まで通りYMCAプログラムへの参加や支援、地域奉仕などを積極的に行っていきたいと思っております。

名古屋クラブのみんなで協力し合いワイズの活動を未来永続に発展させるため努力できるよう活動していきたいと思っております。1年間よろしくお願ひいたします。

また基本的なことですが、ゲストが来やすいように例会の案内を早めにするのを心掛けたり、ゲストへの配慮をしっかりとやっていきたいと思っております。



名古屋東海クラブ
会長
松本 勝



名古屋南山クラブ
会長
森本 征夫

**【会長主題】 「一人ひとりの持ち味を活かして
活発なクラブを」**

我が東海ワイズメンズクラブには「東海ワイズ五つの信条」というのがあります。毎月の第1例会では全員で唱和していますが、私はこれが大好きです。ワイズメンズクラブの目指すものが極めて端的に表現されていると思うのです。まずはこの五つの信条を噛みしめて、この1年を過ごしたいと思います。

さて、この1年ですが、前半は積極的にYMCAの会合・行事に参加協力を惜しまない。後半は少し腰を落ち着けてクラブ内のことにあたる。そんなスタンスで1年を考えたいと思います。また1967年に誕生した我が名古屋東海クラブは、今年で47歳になります。あと3年で50周年を迎えることとなります。50周年をどう迎えるか考え始めることも必要かと考えています。

この1年特に「ひとつひとつの取り組みをきちんとやる」事を心がけたいと思います。

・毎回の例会の充実と時間を守ること・YMCAのプログラムに積極的に参画すること（具体的には年間計画）・根の上キャンプ場の環境整備を継続することただ、課題もあります。メンバーの知恵が必要です。

ワイズメンズクラブらしい、若者への支援の在り方を模索する事・会員獲得、私達メンバーにはみんな得手・不得手があります。様々なプログラムを通して、メンバーが無理なく、楽しみながら持ち味を発揮できる。そんな一年でありたいと思います。

創くろう充実した例会を！

今年度の会長主題として「創くろう充実した例会を！」と致しました。やはり例会は大切にしたいと思っていますが何分にもメンバー数が少なく、外部から講師を招くことは容易ではありません。今年度はできるだけ他クラブとの合同例会等多く持ちたいと思っています。

さて、当クラブCS事業のメインは秋に行う幾つかの施設・障害者を招いてのイモ堀り（フェローシップ・イン・ナンザン）です。この畑は当クラブメンバーから畑を借りて「南山ワイズ農場」として活用し、ここで畝作りから苗植え、雑草取り等を行っております。又この農場を利用して今年後から南山YMCAの野外活動のプログラムが定期的に使って下さっています。今年は更に協力体制をとって行きたいものです。

Yサ・ユース事業ではリーダー支援のプログラムも例会に組み入れております。9月には「リーダーとの懇親会」、1月は「リーダーとの新年会」を行う予定になっています。その折には必ずユースコンボケーションへの参加をアピールしていきます。次回の国際大会には名古屋地域からの参加をさせたいものです。秋にはチャリティーランの支援、ピースフルサンデー（バザー）が南山YMCAで行われ、名古屋地区の他クラブも参加し毎年盛況です。

IBCに於いては現在韓国のサー仁川クラブと台湾の台北中正クラブと結んでいます。台北中正クラブとは毎年何回か行き来しています。

以上のプログラム等は今年度も実施していきたいと思っています。

最後に、今期の大西部長の「主題」「活動計画」を活かしたクラブ運営をしていきたいと思っています。これからの1年微力ではありますがワイズ活動の集大成として頑張りますので皆様のご指導、ご協力をお願い致します。



四日市クラブ
会長
鈴木 良一

会長主題「踏み出そう 最初の一步を！」

“Let’s make the first step forward!”

副題 「原点に立ち返り、再出発を！」

“Start All Again!”

この話は、以前インドへ旅行した人から聞いた話です。インドのある学校を訪れた時、門に「WE COME TO SCHOOL TO LEARN.」と「WE GO OUT TO SERVE.」という言葉が掲げられていたそうです。登校する時に生徒が目にする看板には「WE COME TO SCHOOL TO LEARN.」。「LEARN」には「学ぶ」の他に「身につける・習得する」という意味があり、知識を得ると共に様々な体験を通して「知恵」や「生きぬくために必要な力」を身につけることを意味しています。下校する時に生徒が目にする看板に「WEGOOUT TO SERVE.」とあります。「SERVE」は「人のために尽くす」という意です。この学校の生徒は、「様々なことを身につけるために」学校に来て「世のため、人のため、役立つため、奉仕するために」学校を出ていくのです。

今、この学校をワイズメンズクラブに置き換えて考えてみると、これらの言葉は私たちの活動にも当てはまると思います。世に貢献できるメンバーを送り出すところにワイズメンズクラブとしての大きな使命を感じさせられます。これに応えることのできるワイズメンズクラブをめざし、私たちメンバーが自信と誇りをもって活動できるクラブを目指したいと思います。

今一度原点に立ち返り、再出発を図りたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



名古屋プラザクラブ
会長
後藤 猛

1、クラブ会長主題

「継続するクラブ活動を進めよう！」

我がクラブは総員8名と云う、僅かなメンバーのクラブです。

その中でクラブメンバーが如何に個々の力を発揮しクラブを継続刺さるかが喫緊の課題であると考えます。

2、活動方針

「地域奉仕活動、Yサ活動」

特に上記二つの活動について力を注ぎたい。

3、活動計画

「地域奉仕活動として、老人介護施設に対して Hammond オルガンによる音楽会」

「Yサ活動として、YMCA の LD 児教育のバックアップ・・・高原での岩魚釣り、バーベキュー等」

「クラブ増員・・・リーフレットを使い PR、リーダー達への勧誘」 等です。



名古屋グランパスクラブ
会長
松原 誠

本年度の表題を“確実に進歩、楽しめるワイズ活動”としたいと思います。中心的課題は昨年度より3か年計画で始まったメンバー倍増計画が一点。ファン作りと絡めた東北支援活動がもう一本の柱です。

EMCにおきましては昨年立ち上げたFacebookの発信充実と、紙媒体における広報活動、具体的にはポスターやリーフレットを利用したいと思っており、その活動を通じて新たなるゲスト参加を呼び込んでの卓話の充実化を進めてく所存です。それと何か気楽に出来る独自のボランティア活動を構築できないか検討したく思います。もう一点の東北支援活動においては2期前の会長より始め“食べて応援しよう東北”と題し少しずつ活動の輪を広げつつあります。毎年東北にも足を運び、今期もさらに応援の輪を継続拡大させていきたいと思えます。

ユース支援については日和田のリーダー研修で距離を縮めるといった日和田に絡んでいくことが目標です。また交流事業につきましてはDBC締結2年目を迎えます京都東稜クラブとの交流を深めつつ、活動に生かせるようお互いに学ぶところを吸収できれば良いと思えます。

最も困難を伴うEMC活動ですが、基本は現メンバーの“親睦”“自己研鑽”“社会奉仕の心”にあると思えますので、今より一歩進歩していけるよう望みます



津 クラブ
会長
薦田 正男

主題 話・和・輪・ワイズ

後期高齢者の身でありながら会長を引き受けたのは、ワイズメンとして最後のご奉仕になるのでは

との思いからです。ワイズメンとしての原点に戻って。ワイズメンは何をなすべきか、会員としての義務は果たしているか。YMCAの活動をサポートできているか。全ての会員が理解を深め、ワイズメンとしての働きの出来るよう導いていけたらと思っています。少人数のためできないことが多く、まずメンバーの増強をする。人と人との出逢いを大切に、友達が友達を連れて来られる例会（魅力のある）を守る。地域社会への胞子は継続して実施する。

世界中のワイズメンズクラブで一音だけのクラブは津だけである。ワイズの活動の推進にあたり津クラブを知っていただけるような活動をしたい。

*目標会員増強 3名

*事業計画

10月 ジャガイモ販売

12月 施設慰問

1月 新年餅つき大会

3月 会員研修会

随時 卓話例会

*部事業への参加

8月 中部部会（四日市）



金沢犀川クラブ
会長
澤瀬 諭

今期も「活力に満ちたワイズライフを！」

2014-2015年度も会長役を継続し、3期目を迎えることになりました。このようなことは好ましいことではありませんが、たった6人しか会員がない当クラブの現状を鑑みると、役員が続投は、ある程度やむをえないと思います。過去2年間、多くの学びの機会を与えていただきましたので、この経験を生かし、会員増強を目指してクラブ運営に務めてまいります。各事業委員も続投ですが、適材適所の役務を担ってのスタートですから、プラス面も評価したいところです。

主題に掲げた目標を達成するには、会員の増強が急務であります。前年度は今一歩のところでは会員増には繋がりませんでした。粘り強くEMCに取り組んでいきたいと思っております。

また、金沢YMCAとの連携を強め、リーダーの育成を心がけ、「わいわい農園」事業を推進するとともに、障がい者施設「ひろびろ作業所」との協同作業にも力を注いでみたいと思っております。

これまで確実に成果をあげてきた地域奉仕・環境事業や広報活動および例会運営については、さらに充実したものにし、メンバーそれぞれが各自の長所を生かして「活力に満ちたワイズライフ」を楽しむことができるようにと願っております。

2014 - 2054 中部部報 1号

発効日：2014年7月26日

編集発行：

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区中部
2014-2015 事務所 四日市ワイズメンズクラブ
〒511-0087 三重県四日市市西新地 13-13
郷戸 正光 気付
TEL：059-353-3741

中部部長 大西 博昭

TEL：0594-41-3322

中部書記 郷戸 正光

TEL：059-323-0368